国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用

857-93

曽我物語巻第十二目録

一 十郎相撲いそへゆきたちぎしのす
二 けざれよしもりぎかりもれす
三 ぬんぢよがす
四 なんざいてん乃出事
五 あさいなどしが法がひへぴりひにゆきしす
六 どしがさうづき十郎にふさしぬるす
七 五郎相撲いそへゆきしす
八 あさいなと五郎ちかしくしがのす
九 そがれくどしがなすぞりそしみしす
十 山びとや夜すそのす
十一 ひきいざんぎしまりのす

曽我物語 巻第十二

国立国会図書館 タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

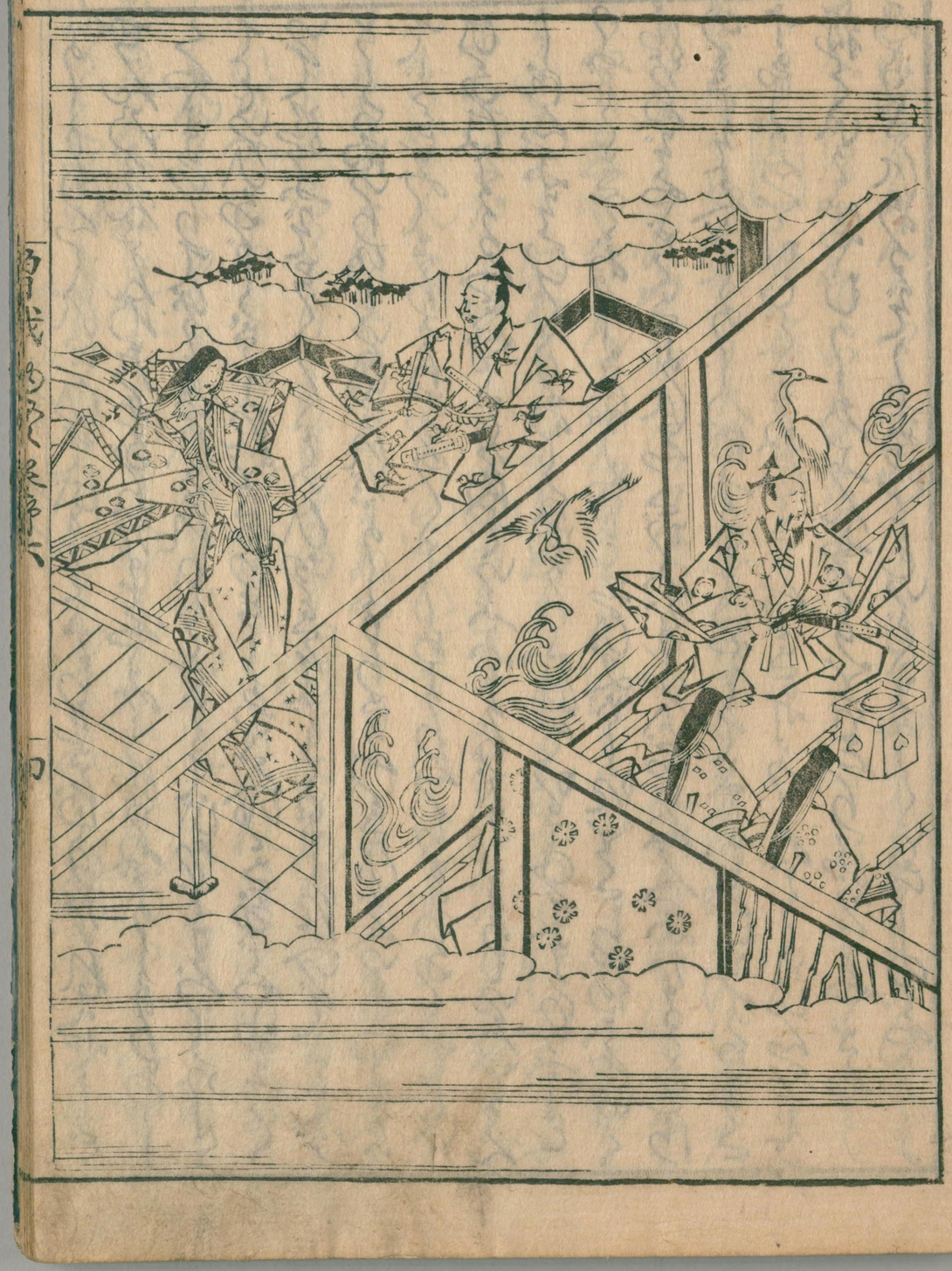
十二 ぶけ志やうとく乃あめれ
十三 ぶけ志やうつくりてまつりし

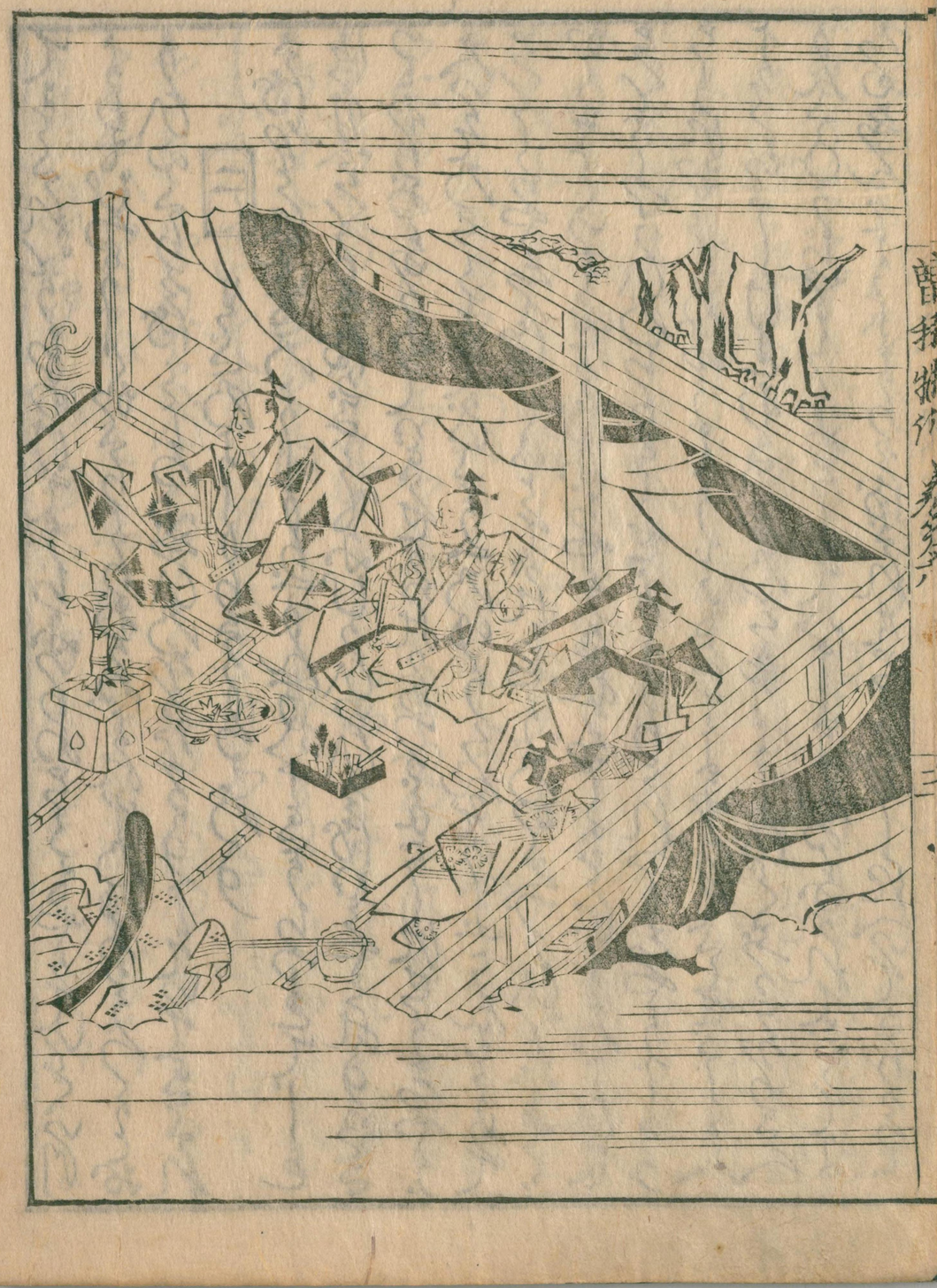
曾我物語巻第六

一 十郎おほいそへゆきたちぶく乃事

さてを十郎をけなりはやうしよりそがへかゐりけ御がさぞ
めなきうさよれなしひ浴くしくとわんぞ御ふとやう目
ふじのにうちいぞくがつくんすいふぢやうなりぶ二三稱んな
さけをかけてあさかしぬぞしにいと御こりんとて志日ぐがりら
まついてとゆきしろよりまいそにしそゆきにそれ御り也
ゟ御くらどれめしふ志てがひさんぞ乃太とやうふとやう新
つまくとをりけり十郎としがき志日く志よにさちよりて
ありけ御がんをかへくしひけ御いくふしく乃さつくひおほく
とをりおりぬしなれぞなりれとさけ家わそびすれまてまれ
なしぬ人ふなさけもやとふりとなくおもはれて志がしく
こ御を知りへくぐらゐていをぞさゝゐる御おりつしとしが
すこうにいぞも乃ゆうくんあまくなまこゐくがれがくりし
ゟ御中にとしがし志とおがしくてぶぐい御のぼうへといづく

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用





国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用

よしもりんくしにしひてばさきこちもさはりなれたがこゝ
ぜんのがんざんのためありなどやみしはりぬよしもりあし
くやまいりてはりといひそれはたゝきてはりどもづくりて
てといひあがりざしれとこちらしらがかくゆきなどやあそく
いでしはふぞどくくといひおきそだくはざしれへいでさぐ今
ちらは内いりはといひそれがよしもりさうづきひろへいまやとま
てどもみくざりさりなかくまじめよりんちまいなしでとい
ひあはよりるべきとこゝ内といふふよりぞよしもりそそん
じはんふそひくるあしは内りたりてかさのそまいりぞと
いふたくさくおしさ内しやとしひがぎしはとこちはとていぐ
はいねぞやさきよりにしてがふなしひしりぬ人ふなるくもは
のこしそうへがしめしのはふるまのひやとそこどひとくはまこ
十郎がんをかひくさねひさうづきけふしぬたくはひんをとん
ねくいかふやむかしのふん女がすをばしりはりすやさやう
のすさにあるぞうしなをもいぐまかしくはじしのこやうが

もはせうらんさつくしやうくせくぬるうしとうとひとそ
てさしはへしそいぐまけき

三

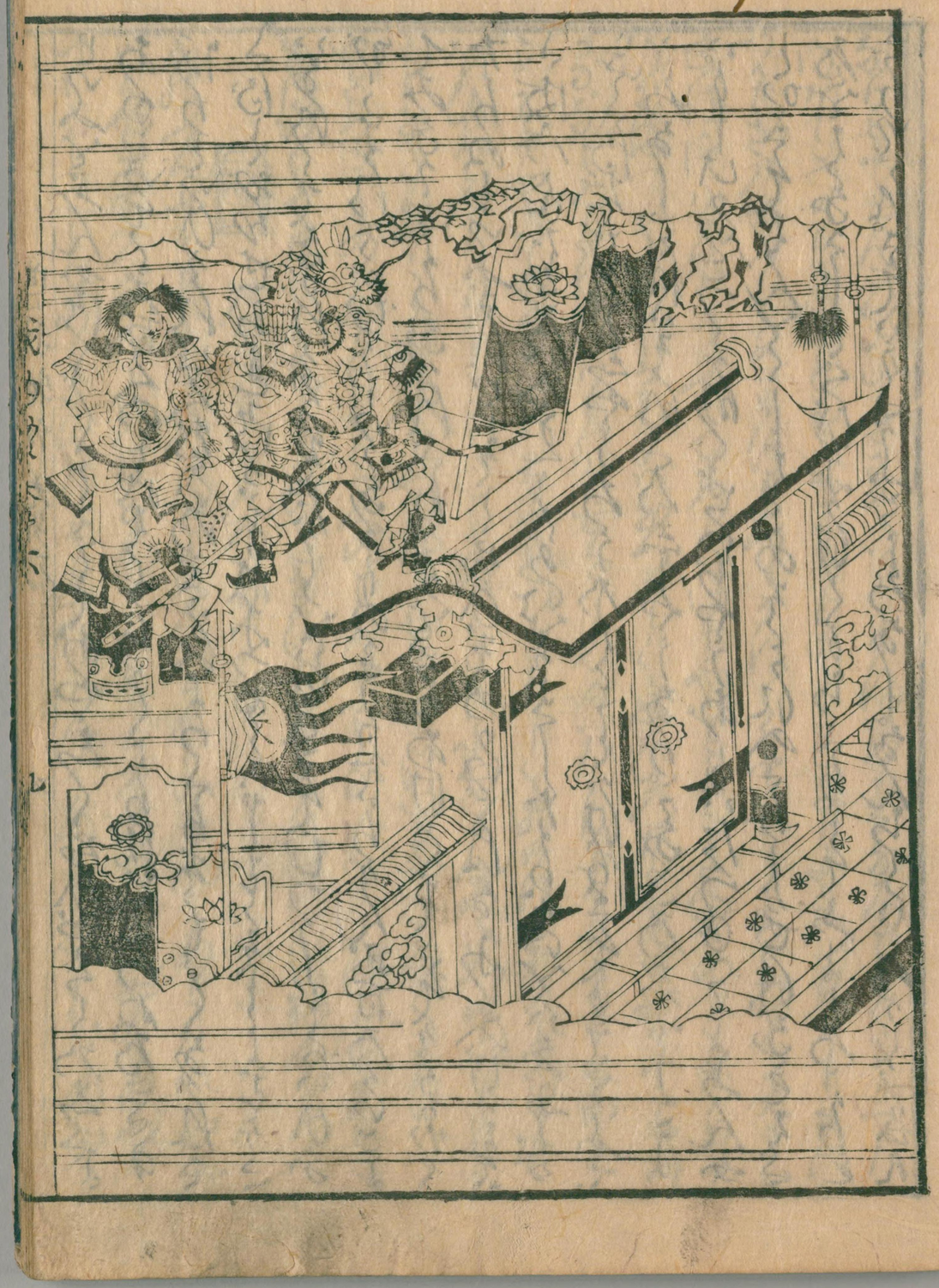
ぬん女がすす

そもくぬん女しゆしるをくりくそづぬるにむりし大
こくつきうされみなかこにふん女といつるとんなるこ天がにさこ母
ちやうしやくさんくしるぎよくのこなしとせちん万がう
よものらしにあまりかりしれたいりなるつこれむくひしや
一ふんのるなしがなしこそいのまたかなりはあるとこさしかき
ふくいふんをよろしびのしひをなはふくりしめるのいふ
りりなしされたるれいでこさぬづこさるのうましさにりの
かすともしりさりかりけつりはかりにさんのひをとく
まれば人よりあしてかごとを六百うこさりこれいりにひとつなり
とも内しさなるそうし六百までむまりくるのたゞるのふあら
ぞ思んなれるをしるくいのるふよりくてん乃ふくこをかう
ふりとおぼくしりかへりなばいりなりれしそおやをもそれし

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

こそとさしあやうくぞさひ乃こゝそくふけくあ也あやうのと
ねあくあくつまやうくりんのつれぬきさきさ大ひ大あ也ゆかり
あくしむあ也かうぞ乃んのあるいとのけとひりせあ也ゆきうえ
乃もそそがかれとしそうゐさりかれまんどくあんまん乃月
まんかうふうらひゐさやうくうあくあ乃ゆきうあろ乃ふとと
ゐくひふさ天かうあ也ゆ乃ゆりれづくり乃さらとさきあれう
こんぢやう乃ゆるなとさしくりしやさんまいのつさゆきあ川さう
ちんあや乃づるとかけらどくむつまやう乃やうぞとさしとい御い
ぞくんとたにまじへてづくうにおひなし給ふりとうて
なれし大あやうしろうりもひかくりさう乃かたにてとこれ
かぶと乃うへかしらともさせつまやうがん乃ひかりゆきうに
してどれくいなづつ中ゆうふおりむしされ乃あこのいろあ
ざやかにしておりくくもあんとみさいさきゆひてんふわ
まゆいまれしにかぶとのころかしらそうつすきとさうもも
し御りかりとのくあやうさにこしとかけの給ひなるゆさい

あ也ゆうりうがさてかひのこゆれもぶ川つまれふゆかなりぞまし
てやいちんかれらがいさきもれくかどもそう寸なしぞおりのさけ
とおほさらあやうちうあづまれとぞぞらし給ふごくま
あろ乃うちうりむしや一人をとこいでゆるゆさぐいまよりせ
さきなつしもれいづくのくふ乃いろなるもれぞまこいろなる者
くいあるぞくりしくなのまといひかれ文百人乃ゆりれさく
てかれしふおやもなしうちけいづもなし むまるくとろを
あらざれがなんでうくれとなのるべしあさゆふあふすとそれ
たかし乃かしさだらりなりゆそさくらとひしさざいかうを
あるへまへぞれしあふかどとりてうへしんといふゆねとがうふ
人ふよりぶんふあくさかひうちもゆやうじもあるもれとまうあ
く乃力がふしぎなりくりしくゆせといひかまばそくそいな
ふくし給ふ者さざりなりしぶりはかこよりなりれさくなる
百人のかいこれなまんなりいれなけまば人あしゆいそさたり
らとかどこしてかへとなしとぞゆうなりれさくなつりれ



国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用

といふをぞんぢにくくときてあやまつくしひやぐらへ乃まつよ
あゆこいぞく又百人のとれだらちりくよりおくぐぞねだこさの
ゆりといひかれば二人なるへ乃さいによりたりそもくながれさ
ゑ御とおわせらまそけがしばよつゆくやもとそとよぶとがこ
なるけてながれかるぞだからとばいぐさぞむつしとはいひな
がうれしがむしいりなかりのかうゆしたりかんぞ百乃かいごま
てみなかこよりながれさりかるとぞりあげくそぞそかるがやく
なりぬといふざれどそとしひそのかいごはなふくへけるぞ
ゑ内乃ゑだこにへうへよめいとうさしなりめいとがなふとか
さゝ御ぞだうまやうろう乃たことかけりさそ
しろなしこれはそれこ乃ましやうなりごなこ乃まやうこま
ぱりしいかいごうがれくぜいぢやうあらがたづひこしやんぞ
とかさそたんとくしだこのそこにへたりしがせけなとたさ
ゑをたなさしとぐひふかけくもちたりとそぷとしろうりと
こりいぐれぷそいこうふとしろなしぷんぢくはぐろかしかれ

ありとてがんこをひしきそいぐくかれがおがな乃ごとくさへた
御かこうるぐさをもとそしてよりぞくをぷども乃なろうしさに
つるさ乃やいぐをもはまつくがれしが中へをしりとのくゑまれ
せばぞいりれもうづくとぬぎゆしやとしりこゑのくちりま
ひぐ内つくいづしかたかなつかしくしひ乃なりとぐまをぞしば
なるなこゑ御ぞいりれとおなじんれなりふかりがまをおまを
をそかやいふなさけ乃そぞをかうだしくおかれをあひよそ
かひかぐれなるぐもとしみかりぞふやそんあい乃中かどがな
しさのあらじ内とやなしやうせけとしさぐへくぷけく
いるあ御ものゑをだく二人のしばふとふくなひくぞあ里
なゆかくてまやうちうふいぐなひ入おやこれむろひ祢んよろこ

ゐんぐひてん乃す
かれ十人ゑとしし人のちよいしゑゐんぐひてんとあらかれ給ふ
とりや又百人のんとが又百ぞうしとなりぞの一ゆんやくあづか
つしまふかしとあらかれだうまやうろうのたことをぞのなり

[illegible]

五

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

やうじごしにいひきれば十郎こさてたのむといふにやりてさ
てざうにやおよりおこされどのぴそうにさしおよりぶつきだ
ちおこへやはぜんとけるりもいぞんとそ思がしのろくとし
いそぴくこまのおもんひきつくろひぞとさしにこそ思の
くこ人ぞくらうりぞそこそなこゑくらうぬくをぴきこ
ぶこちはおこちうりぬしにはよりしひぞのうまひゆうなる
もれかかぎしにはすもおこしまどちくもいぞく十郎をしやや
ぶしぞぶとばにはうりこれやせうろんにくるの四さにぞこさ
もうるはかんしんにありぴきのまさにぎんにぎんとうもうこ
とにぢうしんにこんくなりといつりやうのすやりぶさ
あさいかたうりせにはよしなさのいそこ十郎もこうれぞこ
をんおほくおろびくうせなんぬことにしんしんにのぞんぞん
くるうとうひぶごとくおやうかりしのぞもなり

とうぶさうづさ十郎にさしぬりす
よりしりはとうをみ給ひくぶれしけにしその給ひきうは。

さそも十郎どのこうちにまいしくまるやよそが四しくん
をつそそ給ふすれかなぶのをしりゆりぐぶしゆうりやうぶ
ぶるすれをこれへくとしやうぜどう十郎しやくとうなとし。
さんぶめにかしぬつきをおそいの姫こんにふくが四りいぞざる
よりしさざかそぶんぞのたくみになくりうりぞしとさし
さにさごさまれば ざうづさまへにぞおさうりぶよりしり
とうとうぐくしくぶくぶしかりのうどなくすかぶりのを
ありきよ十郎がんをかくくぶぞざるさへやさしくおぼゆう
にやぞれくとの何となくさうづきとりわげぞのさうづさ
まごのこそもけなりにさにぞのさうづきしひぐくのこそ
めんくにくさしおひざしおひどりぞのちちらんぬよなる。
こうまくぶんじめるかりしけ ぞしがまへにぞおさうる。
とりあげきるをいま下どくしのしまそぶけてもちうるぞうし
もりこれをしていうにはぜんぞのさうづさうづきへも おがしめさん
うへおひざしおまへこれぞ四とのんなんとありきれば ぜぶん

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

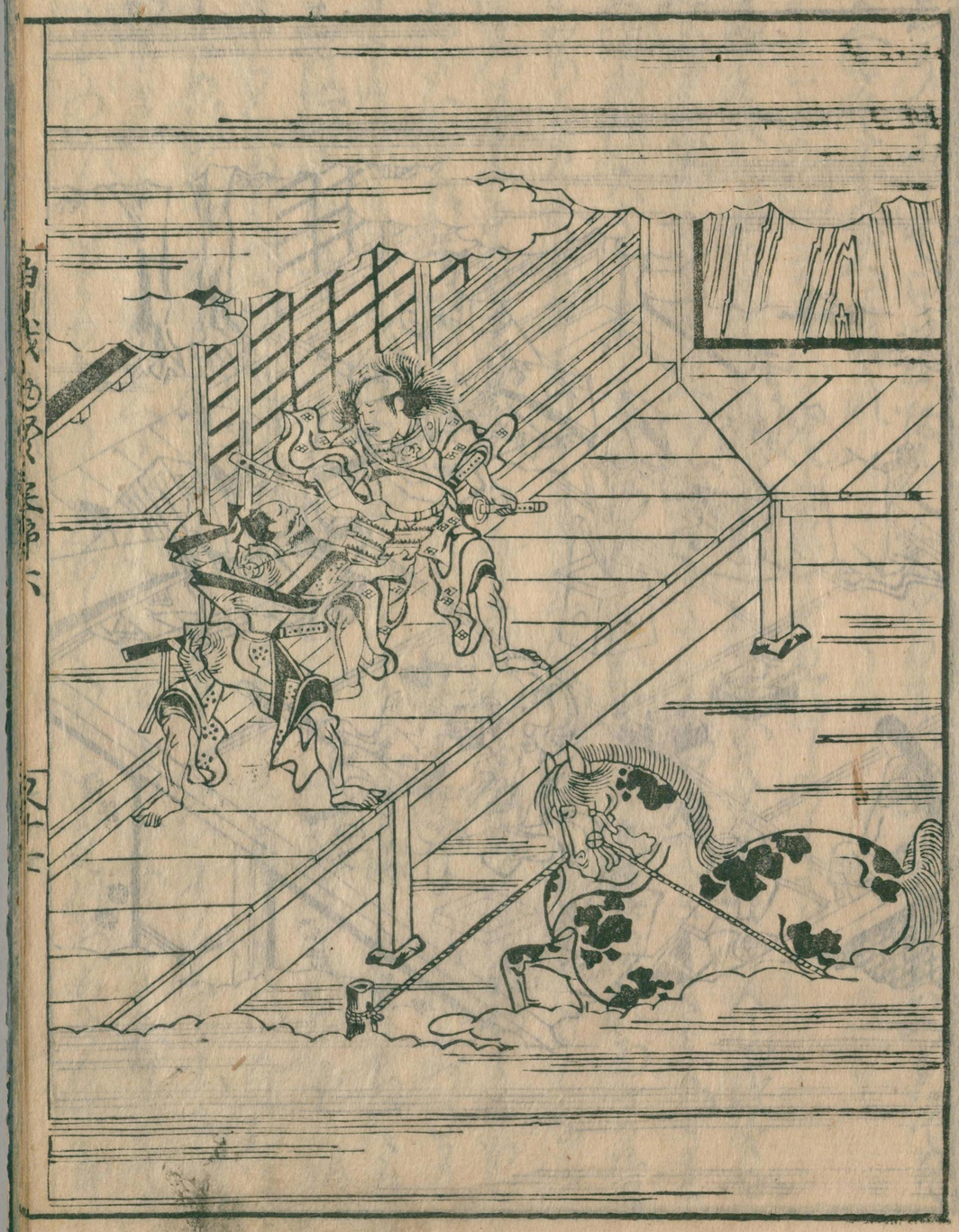
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用

すもなにはたすひさびしてなかのゑさうあらんぞ又さりとは
むさしになるぞうしなにとなさていはすてなしぞしにとさく
だやとゑひかれぞれなにはいぞしうあしぞさとひらさ何
とやらんはざしにはむべまりうりぞうへとのぶらぶやせ居まれ
んとてぞどくはざしにとうちかれぬんくはしそれやしかれ。
よりひぐひやうしとうちそさせ居がよはちよりやちよ紙
さまいしのとむはりわげくぷれはとありくこけ乃むとま
でとみじくまふておさあかり

八

あさいれとみ命ちからくべ乃す
かくてあさいれ乃三命ぞまひもとばぬまばみ命うちうち
まへのむやうじとひさあけまれはあんはさかりはとさむ○はや
てんきうとつくりたんじ海さまりそぞうしぞうりてぞうち
うりぬおさいれあやまくばさやうがんはとりなしてぞや
くむんましまはぞやぞなくへいしせ給へとてぞさどり二三がんむ
ぜととうはひさかれたぞとうしもはうしうぞ寸だんぞやくなりた

よしひでがるとかけなばうぐうぬすやあるべさとむひちからに
まうせ忍いやくとひさかれたみ命はかれたむり○はひくた
なくぴうくたなくおざすしひてぞさんうりかるぷ大ぢうら
まひかれてぷこぬひくさどりこんぞしてぞにされておさ
いなはうしろへどうどたふまかりみ命はとうしもはうしかぞ。
二ちうぐうちはぞさんうりかるぞそしてみ命とさむ○はぞ
いまさり乃大ぢうしとぷそその人まぞむりはかりぬとやぶ
かれくちかたげのう命はどうへかうくはさこゐるぷまくこ雷の
み命はぷそそとはなりてとまふと三だんかりてとそだぢう
ら乃おぞしはうりうり○ぞうしぞのみなるをやちうくしへはの
なふまじすうさんかれとうちましひぷれへくとむやうど
まばおまり乃むくはぬまいなりぬそははめんへとぷひく
ざしにはいでかるぷかちうぬたちとくさどりまそだつぐな海
んへ乃ぐびゐまりりぞばかりぞうちなぐりさしへくゆさとさ
ておさいなかるむとなぬさしまれなどりかるぞしまれおまりて



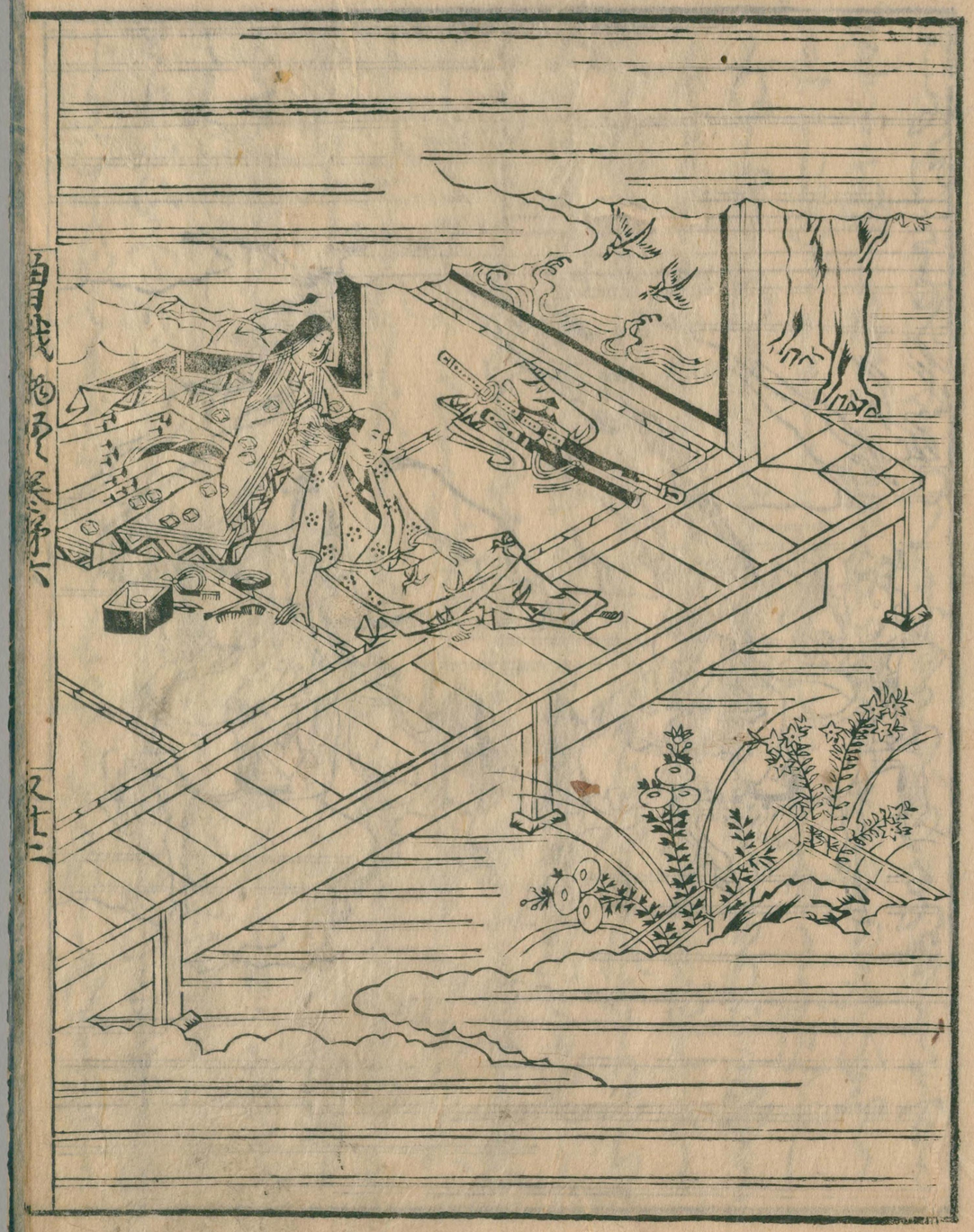
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用

つまそのうへ目かげなけまづ思しせばやと思ひ給ふまゝ
ざふもとゝしせさそまつらでとゞさしかとも此男乃んざし
せけふしてゝしせさそまつらぞかしし給ふべからば夜と
乃ごうしんよもあらじとゝ思ひけ又とんせいまてもなし。とし
ごろとけなりが男ふしひありとは思りまひぬらんそのかん
いとゝけんと思へば此さびいでくのちごさびかつまじかれば
あひこんすもこゝよひばかりこさそ思もなはとなくやしちさ
ひそどきのまゝと思へどもこゝとせはなりぬいつ思ひでもなく
ゝそんすこそむ孫んなまゝ此んさし乃かゞこそありがたく
思ひさそまつまゝめんくこゝきの人はゞとけなりさぜい乃尚と
思くだのじとゝろなさはなはくよりてかつ日なさけもあ
るべきに三とせ乃あいごのかはゞせのがりらぬいろいろさ
山せのまなさてやかとゞさはうきよかれゆかあさがは乃
ゝんなくなゝんものかどをたゞらどまとれぬなさけのそ
でぜんせはすといひながらまゝふしすの乃ゝかしゝ

はうこうの男なし孫ばはそんの乃とさともいはれどこゝろい
せんの男なし。ぶつものあしんありともいはれどゝ思ひいで
乃なきすをゝひいでし給りんすよとそざめづくとなされ
かりどしも此ことがをきてまうちふしてなくよりかれす
そなきやくありておきなとりそもこれなふとなりゆくす
どもそやこれかどのたすせんなのもなりともいかぞかな
りしまべき二人ましまもとんくまざはをさうせさそまつ
らどふりもそくふづらくしひくらまりんすがれなしぬまう
いやともどゞまり給ふ為さうなふくつけてもおかぬまうれ乃
こゝらこそがなしみてもあまりありがやう乃たすんおかげ思
らせまさそがつもくもうましそれさそもしさし月乃此
なじこいつのよふかいまゝ尚でさおもふまかなかぬすなれども
此りれくの見ぐるしきを見まいらもろありふしい人と思き
もなりせばなどやたよりふもなりこそまつらざしんと
思ばんとつらしおりしらしつるによをもそくいづくともなくなん



国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用

ぢどぞふとさのどれまうれなまばぞぞめおさそなぞさかくことを
しひまふへしぞしまはしやうあるれそかりまうをあり。
くらそばうしなのぞもちはへといひくしまふぞのせうりかう

十

山びこや風そのす
まけなりをそくなるしとそしまふくしとうせぐちのりく。
中しらぞとりふゆくなしぞうちはしまくらも見ぐるしぞう
とぞけなりがしふくはみなへしられうれりのたもがいぐ
しらしばとそぐちつまそしをとくまをれぞぐと中しらのさう
ひなる山びこ山のたうげまぞとくりさそ十郎こゝふこ風が
ひへ今をとしもとくりくいへたがなしぞうさくりいぞんと
さぐめしかばぞぐめて五郎をさくらんなぐりつくべさふあう
ぞしようしておひとんすも今がうりぞとしへやうかくなくし
てなうぐふしせぐぞうりへおちこちのさつぐさをしらぬ山中ふ
みちもさやうにみしまうばかれまつしさよひめひまふをくぐさ
いしふなりぞれはしりしのすぞうしのまうれのうなしさは

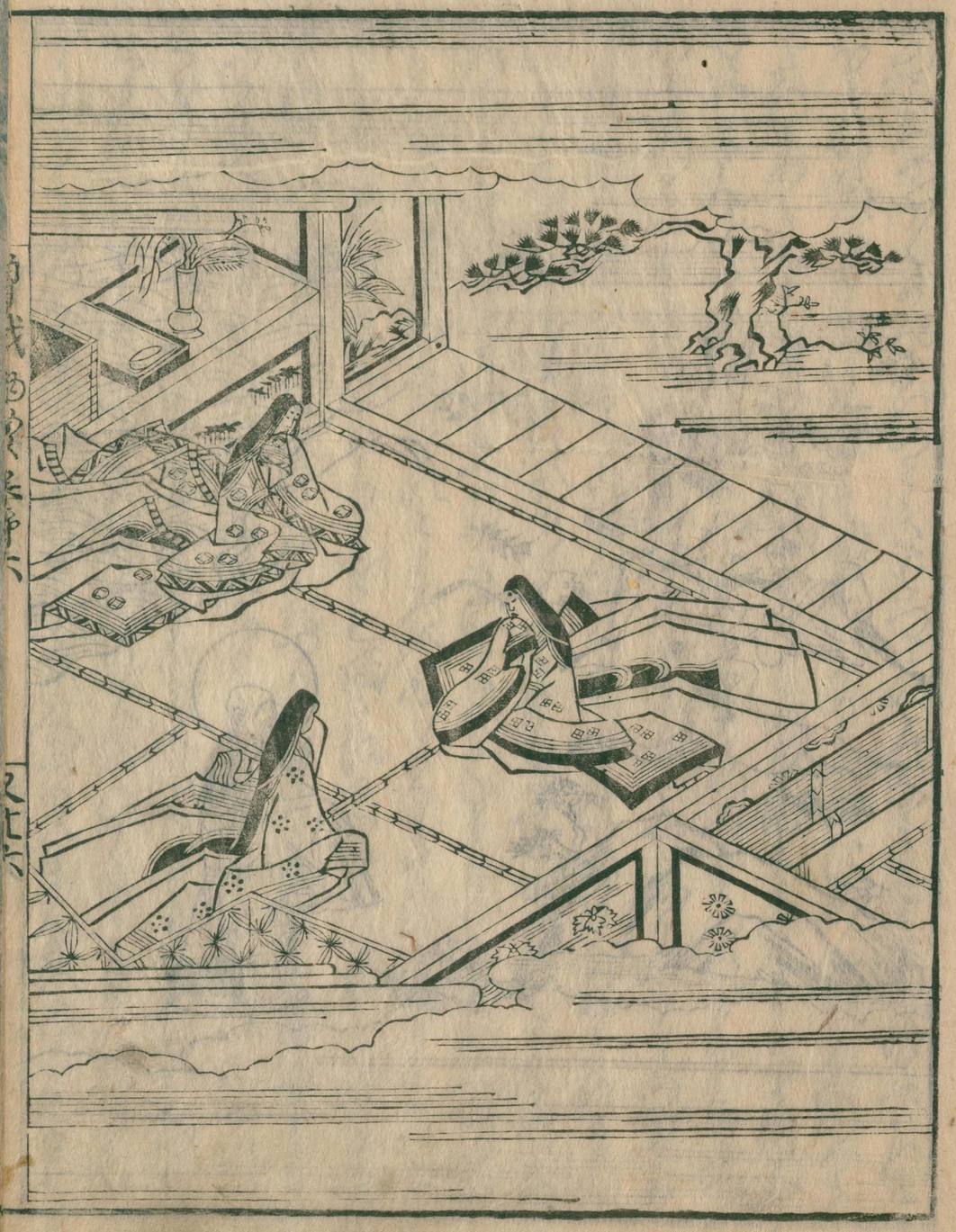
こ風ちかくと打ませぐまふてをとりくしなぐふしせぐぞ
りなりやくありくぞけなりがんのうちをしまうりまへれ
まそうしをくらぐさふをあらぞぐさしをちふぞやうぶの
しんとしまぞんらいせをつくくのしぞとふづよくをおもひ
さりひかつるそそとひくさまけてなくくくちまうれけり。
がまやうんくのゆかれうへまいだるうにちぎりをみ祢んの法う
ふしまとびぢんだや乃しろのうへまいぞをくしらひをまんぞう
乃かあふさしてぢぎりしるたのがれぬまうれのしちはちからた
よりはだがひふあとをへりしぎう中にやまとらひくひうへさりあ
まうにみしまぐをみしばなりゆをばぞなくのそうのしう
つりしうあしびされ山のあるく乃しひしさいぐまをおなじ
んまそぐつくたなさなしぐのそぞゆめ乃どくふうしまうれ
ふかりぞひ乃あまりふぞしがしまう乃くらひうへ海だう二郎
ふなくくいひうるいぞけなりをしまうそまつうんをつまかり
乃なうりなり何ともしぬくといひたかりつるをなしくふく

まてくいひをつくさばどりまさいと後よひ給へるにあらんじせ
ざりしかりとなるれば今ごとしよびかへしてそまろりてさびい
為ゆれひとしとやさんといひかれいだうこ郎さごとれつ子乃
志男つけとんせいまそりなしとそざしてをさまらざりかるがな
乃めならざ後たがひのなけさとりかくおりれにおりひいそざさ
しりまへりだろうにゆきさりかるず十郎とよびかへしりとのたう
けふこちわがりこ後とひへなにすぞとしひかれいどらいなこ
ざにめをられてしひまうきしとのさもいつしか今いうせいく
てどらのまへまにうちかりこさへ為うまへしかば十郎まれ
ていふ為さしとばをなくてさごなくだりまそぞありかる詫
ありくそらいさのしさまそいひかるいかつとなくさぞとちざ
らぬ多ざれもこ後乃あしなこくさとのおとのを後とさはりし
やとしこおりくのぞれへとなくさとさりばそのこれひなしく
とこにふしどりりろとりになさわかにまくらのう乃ちり乃
うこしひとふくこへ後ゆふ為のうのひごさしいぐこた

よりとまちうひくかされぬそでのそのまくにぞろかりかな後
ちざりうかこしとせのゆめいかどをなくさう後くうつくにかりり
かりさそいつのよにめざりわひかな後しひのみりやとしこしも相しま
ざとなさあくりまとけなりこれうへとつくぐ相りふまづこれ
きそ志られさりいとけなくしてちにおられなんつもやうざに
よそに見なしまたく一人のたごくこそしてしんこやうとのぶつと
たおうひもなし此こと世後男ふざにをあひなまてお ぬと
かれ乃なしさいなけされ中れなけさなりそよく乃ひしやうい
ちうれちうかしやがくかり乃やどりこおされりこちり乃ぞちりく
くさがにとぶうつ乃こごしやうさぶらひてさびまへてどう
ざいへうちまれなり

十一

むしいざんたゞ後り乃す
さてをまうてうひえいざん乃ちゞまりとさくにぞんちもぐ
ようちぐにいまごさごまらざ後時いへ志四二まんざいとさを
ちなうぞせうそんじやいざいてんに志四ひせし給ふ大志やう尺



国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　　ガラス使用

[illegible]

[illegible]

十二

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　ガラス使用

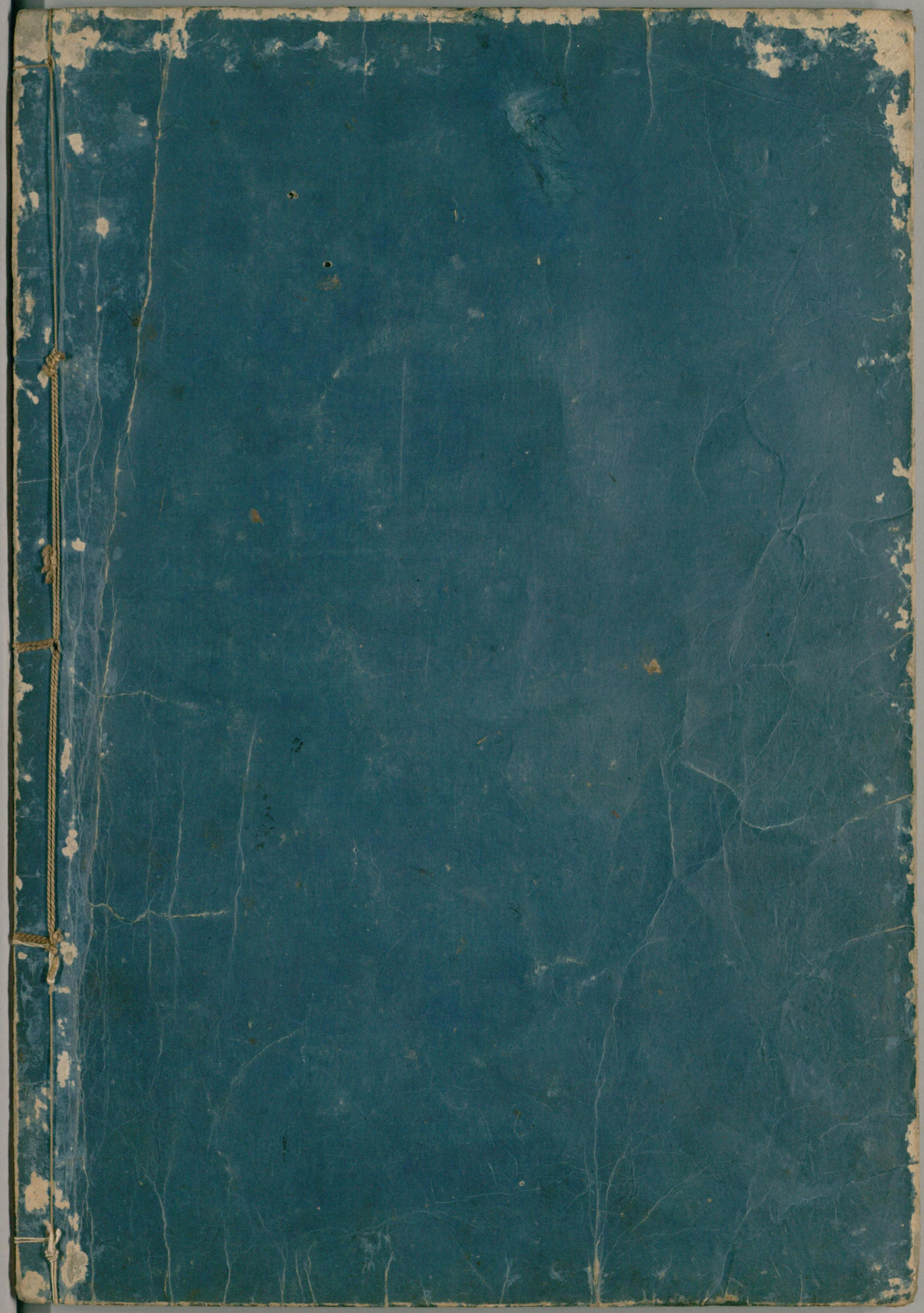
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93　ガラス使用

857
93

青村
市郎右衛門

曽我物語巻八十月二十四日

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 857-93

ガラス使用